明徳中学校区小中一貫だより

呉市立明徳小学校・明徳中学校　　**令和7年7月14日**

明徳中学校区では，令和5・6年度，呉市教育委員会から「小中で創る『未来の学び』実践事業」の指定を受けて研究を推進し，公開研究会で子ども達の学びを他校の先生方にも見ていただきました。

その「子どもが進める『めいとく・トライ』」を中心とした取組の成果と課題を整理し，今年度は，「見通す」「やってみる」「振り返る」取組をさらに広げ，子どもがさまざまな学びや活動を，自己決定し，協働しながら進めることができるよう，研究を進めています。

子どもが学びの状況を把握し，進め方について試行錯誤するなど，自ら調整しながら進める学習

【研究主題】

自他を尊重し，自ら考え判断し，意欲的に自己を表現する子どもの育成

～子ども自らが「見通す」「やってみる」「振り返る」学びや活動を通して　～

この研究主題のもと，「授業改善部会」と「つながり部会」2つの部会を設けて，取り組んでいます。
それぞれのテーマと研究内容は，次のとおりです。

＜授業改善部会＞

テーマ：主体的に学ぶ児童生徒の育成

（1）「めいとく・トライ」の推進
- 子どもが追究したい「問い」の設定
- 子どもが自己調整しながら進める学習
- 振り返りの充実

（2）特別支援や児童生徒理解の視点を取り入れた一人一人に寄り添う教育活動の推進
- 児童生徒の学習課題に応じた学習フリータイム・家庭学習

＜つながり部会＞

テーマ：自他を尊重する児童生徒の育成

（1）地域の構成員としての意識の育成
- 児童生徒が主体となり，企画・運営する行事や学習活動の推進
- 異年齢の子どもや地域社会など，世代を越えた交流の場の設定

（2）家庭・地域を巻き込んだ防災教育の深化に向けた取組

（3）生活習慣を再認識させるための取組
（生活リズム週間，
小：歯磨き　中：メディアコントロール）

（4）共感的な人間関係の育成
（小：異学年交流　中：SEL）

一学期の主な取組を紹介します。

【全体研修会・研究部会】

4月16日（水），第1回の全体研修会と研究部会を行い，今年度の研究の方向性，具体的な取組や検証の方法等について，協議しました。

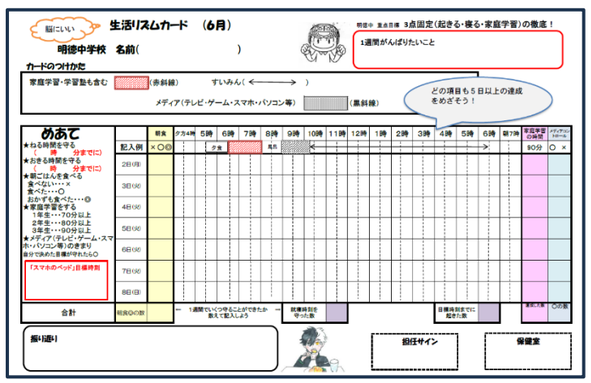
まず，具体的な子どもの姿として，現状や目標を確認し，その実現に向けた取組について対話を通して考えることができました。

【授業研究】

6月9日（月），小学校第5学年の理科「種子の発芽と成長」で授業研究を行いました。「インゲンマメを大きく育て，たくさんとれたインゲンマメを使って料理を作ろう。」という単元のゴールに向けて，植物の成長には日光・肥料・土が必要なのではないかという予想を確かめるための実験の計画を立てました。子どもたちは，これまで学習したことを活かしながら，自分やグループで考えを深めていました。

また，講師の木下　博義先生（広島大学大学院人間社会科学研究科　教授）が，授業や教師のファシリテーションについて，具体的な改善策を挙げながら，ポイントを示してくださいました。

【生活リズム週間】



子どもが書いた標語とイラストの入った「明徳小・中学校　健康カレンダー」にも，生活リズム週間を明示しています。この週間には，「生活リズムカード」を使って，自分の生活について，目標を立て，「見通す」「やってみる」「振り返る」取組を行っています。